

教科	インクルーシブ・ゼミ	内容(単元名)	第1回 オリエンテーション
実施日	2019年5月24日(金) <input checked="" type="checkbox"/> AM <input type="checkbox"/> PM		
授業者	川口信雄・日戸由刈	クラス	<input checked="" type="checkbox"/> 普・ <input type="checkbox"/> 生(1.2年) A <input type="checkbox"/> B <input checked="" type="checkbox"/> 合同 <input type="checkbox"/>
本時のねらい	1 1年間で学習する大きな流れを確認し、見通しを持つ 2 笑いのあふれる時間を過ごし、心を開く。		
評価規準	1 1年間で学習する大きな流れを確認し、見通しを持つことが出来たか 2 共感関係づくりの第一歩を踏み出せたか		
学習過程(1導入 / 2展開 / 3まとめ・ふりかえり)			
配時(分)	学習活動と内容		指導上の留意点
1 5	(1) 本時の流れを伝える		・本時の授業の流れを確認する
2 70	(1) グループエンカウンター① 5分 「鼻つまみチェーンジ!」 (2) グループエンカウンター② 15分 「なんでもバスケット」 (3) グループエンカウンター③ 15分 「バースデーリング」 (4) 自己紹介 10分 「〇〇の好きな〇〇さんの隣の△△です」 (5) インクルーシブ・ゼミの概要説明 20分 (6) まとめ 5分		・準備運動的なゲーム ・楽しい雰囲気づくりに努める ・ねらい、内容、年間予定を伝える。
3 10	※サガジョ学生が図書館まで案内 ※校内散策後、学食で昼食、その後ふり返り (カレッジ生は感想を話させてから用紙に記入する)		・受付サポートまでしてくれる ・生活日誌に今日のふり返りを記入し、自己評価する(5段階)
			日戸 ・ネームプレート (学生・教員) 川口(リード) 日戸(撮影・記録) 瀧野(学生と一緒に活動) ・椅子とフラフープ ・プリント 日戸 ・「インクルーシブ・ゼミについて(4.28川口版)」 日戸 川口・日戸 ・生活日誌

教員自己評価 (※ねらいに対する手立て・成果・課題・引継ぎ 等)

学生名	自己評価 評価	前回のふり返り
① ○○		
② ○○		
③ ○○		
④ ○○		

教科	インクルーシブ・ゼミ	内容(単元名)	第2回 構成的エンカウンター
実施日	2019年6月21日(金) <input checked="" type="checkbox"/> AM <input type="checkbox"/> PM		
授業者	川口信雄・日戸由刈	クラス	18名 相模女子大生13人、カレッジ5人(含む瀧野)
本時のねらい	1 グループで協力する楽しさを味わう 2 人によって価値観が異なることを知る		
評価規準	1 みんなの知恵を結集して、高いタワーを作ろうとしたか 2 価値観の違いと自分の考えがすべて正しいとは限らないことに気づく		
学習過程(1 導入 / 2 展開 / 3 まとめ・ふりかえり)			
配時(分)	学習活動と内容	指導上の留意点	教具・資料等
9:30	川口、日戸研究室へ授業準備	カレッジ生はランチ会用におにぎりなどの軽食を持参する	
10:10	各自校門に集合→日戸研究室へ	受付で子育て支援センターと伝える	川口
1 10:40 (5)	(1) 本時の流れを伝える	・本時の授業の流れを確認する	日戸
2 10:50 (60)	(1) SGE①「ハイ」 5分 (2) SGE②「猛獣狩りへ行こう」 10分	・終了後、椅子を壁側に片づける ・6人グループで終わる。グループができた後、次の3グループになるように調整する。 ①S・NH・サガジョ4 ②N・J・サガジョ4 ③瀧野・サガジョ5	川口 ・古新聞紙10部、1m物差し、プリント 瀧野(学生と一緒に活動)
11:50 (10)	(3) SGE③「新聞紙タワー」 20分 (4) SGE④「大切なもの」 15分 (5) ふり返り・共有 10分 (6) 原状復帰・まとめ 10分	※SGE: Structured Group Encounter 構成的エンカウンター ・秋学期の予定など	日戸
3 12:00	サガジョ有志と子育て支援センターでランチ会	・サガジョ生がリード	日戸、川口
12:45	学食(カフェ)でふり返り	・生活日誌に今日のふり返りを記入する	
14:00	校門で解散		

学生名	自己評価 評価	前回ふり返り(5月24日)
① ○○	5	初対面で緊張しましたが楽しく余暇活動できてよかったです
② ○○		最初、皆さんの顔が少し暗かったので、もう少し明るめと笑顔でいてくれたらと思いました。
③ ○○	4	緊張して体がガチガチになったので、次回は楽しんでやりたいと思います。
④ ○○	4	自己紹介の時に声が小さくなってしまいました、エクササイズはとてもよくできました。

教科	インクルーシブ・ゼミ	内容(単元名)	第3回 パーソナル・ポートフォリオ①
実施日	2019年9月27日(金) <input checked="" type="checkbox"/> AM <input type="checkbox"/> PM		
授業者	川口信雄・日戸由刈	クラス	10名 相模女子大生6人、カレッジ4人(+小林)
本時のねらい	1 秋期のゼミのねらいと予定を知る 2 お互いのことをよく知ることを通して関係性を深める		
評価規準	1 トーキングゲームを楽しむことができた 2 価値観の違いと自分の考えがすべて正しいとは限らないことに気づく		
学習過程(1導入 / 2展開 / 3まとめ・ふりかえり)			
配時(分)	学習活動と内容		指導上の留意点
9:30	川口、日戸研究室へ授業準備		カレッジ生はランチ会用におにぎりなどの軽食を持参する
10:20	各自校門に集合→8号館834教室へ		サガジョ生も出迎える
1 10:40 (5)	(1) 本時の流れを伝える		・本時の授業の流れを確認する
2 10:50 (30)	(1) SGE「鼻つまみチェンジ」 5分		・終了後、椅子を壁側に片づける ・全員で輪になってゲーム
11:20 (10)	(2) トーキングゲーム25分		
	(3) パーソナル・ポートフォリオについて 15分		※次回現物を持ってくる
	(4) 「好きなもの・関心のあるもの・得意なもの・資格・表彰」についてシートに記入する。15分		
	(5) ふり返し・共有 10分		
	(6) 原状復帰		
3 12:00	サガジョ有志と子育て支援センターに移動してランチ会		・サガジョ生がリード
12:45	学食(カフェ)でふり返し		・生活日誌に今日のふり返しを記入する
14:00	校門で解散		

学生名	自己評価 評価	前回のふり返し(6/21)
① ○○	欠席	
② ○○	5	楽しく皆さんとやれて私はまんぞくしました。ランチ会でもサガジョの先輩とおしゃべりしました。みんなの服装がかわいかったのでつつい見とれちゃいそうでした。
③ ○○	4	今日は、とてもいいけいけんができました。たわいもない話が楽しかったです。
④ ○○	5	今日は大学生との人と少しだけ話せてよかったです。一番大切なものは何か教えあうところは、皆の考えが違っておもしろかったです。昼ごはんを学生の皆と食べて、さらに仲が深まった気がしました。

教科	インクルーシブ・ゼミ	内容(単元名)	第4回 パーソナル・ポートフォリオ②
実施日	2019年10月25日(金) <input checked="" type="checkbox"/> AM <input type="checkbox"/> PM		
授業者	川口信雄・日戸由刈	クラス	10名 相模女子大生6人、カレッジ4人(+小林)
本時のねらい	1 自分の好きなものや得意なものについて心を開いて自己開示する 2 自分の特性についてふり返り言語化する。その過程でお互いに助け合う。		
評価規準	1 ポートフォリオを活用して自己開示することができた。 2 対話の中で、自分の特性について気づきを得ることができた。		
グループ	①カレッジ生2名、サガジョ生3名 ②カレッジ生2名、サガジョ生3名		
学習過程(1導入 / 2展開 / 3まとめ・ふりかえり)			
配時(分)	学習活動と内容	指導上の留意点	教具・資料等
9:30	川口、日戸研究室へ授業準備	カレッジ生はランチ会用におにぎりなどの軽食を持参する	小林・川口
10:20	各自校門に集合→8号館834教室へ	サガジョ生も出迎える	
1 10:40 (5)	(1) 本時の流れを伝える	・本時の授業の流れを確認する	日戸
2 10:45 (50)	(1) 好きなこと得意なことアンケートクイズを行い、当てられた人が順番に「好きなもの・関心のあるもの・得意なもの・資格・表彰(パーソナルポートフォリオ)」について発表する。	・全員の発表を聞く ・ポートフォリオや現物を使って発表する	川口 トーキングゲーム 川口
11:35 (10)	(2) 「わたしのトリセツ」を配布、説明	・2グループに分かれる	川口
11:45 (15)	(3) 「わたしのトリセツ」を書く	・助け合いながら記入する	日戸
12:00	(4) 原状復帰		
3 12:10 (30)	サガジョ有志と子育て支援センターに移動してランチ会	・サガジョ生がリード	日戸、川口
12:45	学食(カフェ)でふり返り	・ふり返りシートに今日のふり返りを記入する	小林
14:00	校門で解散		

学生名	前回のふり返り(9/27)
① ○○	今回のインクルで印象に残ったことはトーキングゲームができたことです。自分の趣味やスポーツや今ハマっていることなどをみんなと共有できたところが印象に残りました。ポートフォリオの制作もして、賞をもらったことなどを発表し合えたことがよかったです。10月のインクルも楽しみです。
② ○○	久しぶりにサガジョの人と会えてとても嬉しかったです。ランチ会で一緒におしゃべりができてとても嬉しかったです。もうちょっと話せたらいいなと思いました。トーキングゲームでカードを引くときに緊張してしまうのでゆうきをもちながら、皆さんに伝えることができて良かった

	たです。
③ ○○	トーキングゲームでは楽しく交流できたのでよかったです。ランチ会でもやりました。ポートフォリオでは高校2年生の時に野球の全国大会でゆうしょうしたことを話しました。次回のインクルも楽しみです。
④ ○○	今回のゼミでは皆でトーキングゲームができて楽しかったです。次のゼミで自分のポートフォリオにもっと好きなことや得意なことを書いて、皆に自慢したいです。ランチ会では久々に会った学生さんもいて、話がはずみました。気軽に雑談する感覚でワイワイすることができました。私は人と話すのが苦手なのですが、皆の話を聞きながら、突っ込んだりすることができて良かったです。

教科	インクルーシブ・ゼミ	内容(単元名)	第5回 パーソナル・ポートフォリオ③
実施日	2019年11月8日(金) <input checked="" type="checkbox"/> AM <input type="checkbox"/> PM		
授業者	川口信雄・日戸由刈	クラス	10名 相模女子大生6人、カレッジ4人(+小林)
本時のねらい	1 自分の困りごとについて心を開いて相談する 2 対話の中で、自分の特性について気づきを得る。		
評価規準	1 ポートフォリオを活用して相談することができた。 2 対話の中で、気づきを得ることができた。		
グループ	①カレッジ生2名、サガジョ生3名 ②カレッジ生2名、サガジョ生3名		
学習過程(1導入 / 2展開 / 3まとめ・ふりかえり)			
配時(分)	学習活動と内容	指導上の留意点	教具・資料等
9:30	川口、日戸研究室へ授業準備	カレッジ生はランチ会用におにぎりなどの軽食を持参する	小林・川口
10:20	各自校門に集合→8号館834教室へ	サガジョ生も出迎える	
1	10:40 (1) 本時の流れを伝える	・本時の授業の流れを確認する	日戸
2	10:45 (2) トーキングゲーム	・2グループに分かれる	川口
11:00	(3) パーソナル・ポートフォリオ相談会:「自分の特性」について対話する。	・ポートフォリオを使って対話	川口、日戸
(50)	①どんな場面でどんなことに困るか ②自分にできる対策 ③周囲にお願いしたいこと	・質問やアドバイスを促す ・サガジョ生はカレッジ生の困りごとを引き出し、本人が気づいていない自分を見つける工夫を	後ろのグループ用にホワイトボードを2枚用意する。
11:50	(4)「わたしのトリセツ」を完成する	・対策は本人の強みを活かせるものがいい	
(15)		・サガジョ生も自分の困りごとを開示し、同じ目線で対話する	
12:05	(5) 講評		日戸
12:10	(6) 次回の予告		川口
	(7) 原状復帰		日戸
3	12:15 サガジョ有志と子育て支援センターに移動してランチ会	・サガジョ生がリード	日戸、川口
(30)			
12:45	学食(カフェ)でふり回り	・ふり回りシートに今日のふり回りを記入する	小林
14:00	校門で解散		

学生名	前回のふり回り(10/25)
① ○○	みんなの趣味やスポーツなどを共有できたことが1番思い出に残っています。
② ○○	みんなの前でダンスを発表しました。自分は上手く説明ができなかったので、もっともっと人の前でプロみたいに説明ができればいいなと思いました。サガジョの人たちはいろんな夢があっていいなと思いました。

	た。私も夢をもてたらいいなと思いました。
③ ○○	○○さんや□□さんの発表がとてもいんしょうにのこっています。二人の発表がすごく上手で自分がまねしようと思えました。
④ ○○	皆の好きなことや得意なことを詳しく聞くことができて楽しかったです。外見だけだと何をしているかは分からなかったもので、自分に近い趣味の人もいれば色々なオタクをしている人もいて面白かったです。自分のポートフォリオは写真を加えたりするなど直す部分が多く見つかったので、次回までに直しておきたいです。ランチ会では、今回もワイワイ楽しく盛り上がることでよい時間を過ごしました。

教科	インクルーシブ・ゼミ	内容(单元名)	第6回 パーソナル・ポートフォリオ④
実施日	2019年11月22日(金) <input checked="" type="checkbox"/> AM <input type="checkbox"/> PM		
授業者	川口信雄・日戸由刈	クラス	10名 相模女子大生6人、カレッジ4人(+小林)
本時のねらい	1 自分の夢やなりたい職業について心を開いて自己開示する 2 パーソナルポートフォリオを完成する。		
評価規準	1 ポートフォリオを活用して自己開示することができた。 2 パーソナルポートフォリオ作りを通して、自分について気づきを得ることができた。		
グループ	① カレッジ生2名、サガジョ生3名 ②カレッジ生2名、サガジョ生3名		
学習過程(1導入 / 2展開 / 3まとめ・ふりかえり)			
配時(分)	学習活動と内容	指導上の留意点	教具・資料等
9:30	川口、日戸研究室へ授業準備	カレッジ生はランチ会用におにぎりなどの軽食を持参する	小林・川口
10:20	各自校門に集合→8号館834教室へ	サガジョ生も出迎える	
1	10:40 (1) 本時の流れを伝える	・本時の授業の流れを確認する	日戸
2	10:45 (2) 「自分の夢・職業」発表会 (60) (プレゼン2分、質疑応答3分)	・全体で、ポートフォリオを使って発表 ・質問やアドバイスを促す。	川口
	11:35 (3) 「パーソナルポートフォリオ」を (15) 完成させる	・2グループに分かれ助け合う。)
	11:45 (4) 「パーソナルポートフォリオ」展 (15) 示会	・お互いに見合う	
	12:00 (5) 講評		長谷川社長
	(6) 次回の予告		川口
	12:10 (7) 原状復帰		日戸
3	12:15 サガジョ有志と子育て支援センターに (30) 移動してランチ会	・サガジョ生がリード	日戸、川口
	12:45 学食(カフェ)でふり回り	・ふり回りシートに今日のふり回りを記入する	小林
	14:00 校門で解散		

学生名	前回のふり回り(11/8)
① ○○	2グループに分かれてのトークや個人の話などが聞いて自分も安心できたところが、今回のインクルの中ではよかったところです。次回も楽しみにしています。
② ○○	欠席
③ ○○	今日は相談会をして、相談の仕方を勉強しました。いろいろな人の悩みを聞くことができ良かったです。司会をがんばりました。
④ ○○	サガジョ生の悩みを色々聞いて面白かったです。普段の様子を見ていると明るく優しい先輩ばかりなので、悩みごとがあるようには見えませんでした。「一度に二つの仕事はダメ、メモをとらないと覚えることができない」など自分と同じ悩みを抱えている人がいて、それを共感した時に、自分とサガジョ生の共通点が生まれ、話がはずむ時が「インクルーシ

ブゼミ出来て良かったなー」と思える瞬間になりました。

※前回の「わたしのトリセツ」相談会の板書をプリントアウトし、学生に配る。(それぞれのキャンパスで)

教科	インクルーシブ・ゼミ	内容(単元名)	第7回 パーソナル・ポートフォリオ⑤	
実施日	2019年12月6日(金) <input checked="" type="checkbox"/> AM <input type="checkbox"/> PM			
授業者	川口信雄・日戸由刈	クラス	10名 相模女子大生6人、カレッジ4人(+小林)	
本時のねらい	1 自分の困りごとについて心を開いて相談する。 2 他人の困りごとを共感的に受け止め、アドバイスする。			
評価規準	1 ポートフォリオを活用して相談することができた。 2 対話の中で、アドバイスすることができた。			
グループ	①カレッジ生2名、サガジョ生3名 ②カレッジ生2名、サガジョ生3名			
学習過程(1導入 / 2展開 / 3まとめ・ふりかえり)				
	配時 (分)	学習活動と内容	指導上の留意点 教具・資料等	
	9:00 9:50 10:00 10:10	川口、日戸研究室へ授業準備 司会役学生集合 外部支援者(武部・瀧田・工藤)集合 各自校門に集合→8号館834教室へ	カレッジ生はランチ会用におにぎりなどの軽食を持参する サガジョ生も出迎える	小林・川口
1	10:30	(1) 本時の流れを伝える	・本時の授業の流れを確認する	日戸・川口
2	10:35 10:45 (75)	(2) トーキングゲーム (10分) (3) 「パーソナル・ポートフォリオ」相談会(1人15分) 社会に出た時に、 ①どんな場面でどんなことに困るか ②自分にできる対策 ③周囲にお願いしたいこと ※1人終わったら板書を各グループの板書係が撮影し、日戸に送付する。後ほどプリントアウトし、本人に返す。	・2グループに分かれる。 ① 835(武部・瀧田) ② 834(日戸・工藤) ・質問やアドバイスを促す。 ・板書係:日戸・武部 (リーダー発表時は司会もする) ・外部アドバイザー:工藤・瀧田	川口
	12:00 12:10	(4) 講評 (5) 原状復帰		小林 日戸
3	12:15 (30) 13:00 13:15 14:00	サガジョ有志と子育て支援センターに移動してランチ会 カレッジ生はその場に待機 カフェでふり返りを記入する。 校門で解散	・サガジョ生がリード ・小林が迎えに行く ・ふり返しシートに今日のふり返りを記入する	教員は連携協議会参加のため不在 小林
	12:15 13:00 13:10	連携協議会(834教室) 終了 撤収	構成員10名、事務局構成員4名 日戸は12:40に講義のため中座	小林

学生名	前回のふり返し(11/22)
① ○○	今日はみんなと楽しく会話ができ、みんなの趣味や将来になりたい職業などを聞くことができ良かったです。次回も楽しみです。1番印象に残ったのは、下村さんが言っていた仮面ライダーの変身のことやゼロワンのことです。

② ○○	休み
③ ○○	今日はポートフォリオについて勉強しました。○○さんが親孝行したいと言っていました。自分は親孝行したいと思えていなくて、自分は将来親孝行しないといけないなと思いました。りょこうにつれていきたいと思います。
④ ○○	今日のゼミは皆の夢を聞く授業でした。自分の夢やなりたい職業についてまとめて分かりやすく発表することができました。他の人の発表を聞いていると、皆の夢は明るくてフリーダムなものが多く、自分も明るい夢をたくさん持てるといいなと思いました。将来についてあんまり堅苦しく考えないことも大事だと、他の人の発表を聞いて思いました。ゼミでの新たな発見をこれからも大切にしていきたいです。

④ パーソナルポートフォリオ書式 表紙

ここに自分の好きな絵を書いたり、
写真を貼ったりする。

ゆたかカレッジ横浜C

氏名

共に学ぶことで、
共に変わった！



文部科学省「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」令和元年度 委託事業

「共生社会の実現に向けた、知的障害者等への
生涯学習プログラムの実践研究」

～大学との連携による「インクルーシブな学び」創成の試み～

成果報告会

参加費
無料

主催：【福祉型カレッジ】ゆたかカレッジ横浜キャンパス

- ・ 日時: 令和2年3月7日(土) 13:30～16:30
- ・ 場所: タイムシェアリング新横浜B(レンタル会議室)
- ・ アクセス: 新横浜駅より徒歩5分、新横浜アリーナ通りビル5階
(横浜市港北区新横浜3-7-7:裏面地図参照)

《プログラム》

I 部 基調講演

「障害者の生涯学習」

講師 神戸大学大学院人間発達環境学研究科
教授 津田 英二 氏

II 部 成果報告

- 1 本研究事業概要説明
- 2 学習プログラム開発研究報告
 - ①インクルーシブ・出前講座
 - ②インクルーシブ・キャンパス講座(さがみアカデミー)
 - ③インクルーシブ・ゼミ
 - ④学生座談会(カレッジ学生と相模女子大学生)

相模女子大学のゼミで、カレッジとサガジヨの学生が共に学ぶ
ことで、共に変わった！ その声を是非聞きに来てください。

3 講評

文部科学省 障害者学習支援推進室長 小林美保氏、他

問い合わせ先: 株式会社ゆたかカレッジ横浜キャンパス
Tel: 045-410-6441

おわりに

本実践研究は、令和元年度「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」として、ゆたかカレッジ横浜キャンパスと相模女子大学が連携・協働で推進してきました。

まとめにもありますように、知的障害者等の高等教育を考えるという意味では、ある一定の成果を出せたのではないかと自負しています。

中でもインクルーシブ・ゼミは、全国でも初の試みになったのではないかと思います。単に時間と場を共有するだけの交流ではなく、双方ともに当事者研究として成果を出せたことは、今後の共生社会の実現に寄与することになったと考えています。

2月に、相模女子大学の学生がゆたかカレッジにボランティアで来たときのエピソードを一つ紹介します。カレッジの授業が終わった後で、カレッジの学生が「ねえ、帰りに駅の近くにあるタピオカの店に飲みに行かない？」と誘って、初めて相模女子大学の学生とカレッジの学生が一緒に出かけていったのです。とても微笑ましい光景でした。これが自然と言えば自然な姿なのですが、インクルーシブ・ゼミが無ければ絶対に起こらなかったことだと思いました。この事業をやって良かったと実感できた瞬間でした。

この事業に協力してくださったみなさんに謝辞を述べて終わりたいと思います。はじめに、事業推進の要となったゆたかカレッジ顧問の川口信雄先生と相模女子大学の日戸由刈先生、このお二人無くして事業は成立しなかったと言っても過言ではありませんでした。本当にありがとうございました。また、連携協議会の委員のみなさまには、本務がある中お時間をさいていただいて貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。3つの学習プログラムの出前講座とキャンパス講座（さがみアカデミー）の講師を快くお引き受け下さった先生方、素晴らしい講義や授業をありがとうございました。そして、この事業の主役となり、惜しみなく協力してもらったカレッジの学生と相模女子大学の学生たち、本当にありがとうございました。

最後に、ゆたかカレッジ代表取締役長谷川正人氏には、理念の推進や金銭面で多大なる支援をしていただきました。また、文部科学省の障害者学習支援推進室の小林美保室長をはじめ、井口様と峯様には事業推進や書類の作成等では大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

ゆたかカレッジ横浜キャンパスと相模女子大学のこの取組は1年の試みで幕を下しますが、この報告書が種となり、どこかの団体がこの種から芽を出していただいて、花を咲かせていただけたら、この上ない喜びとなるでしょう。

令和2年3月
ゆたかカレッジ横浜キャンパス

学院長 小林 靖